

柚木 沙弥郎の 100 年

創造の軌跡展



概要

この秋 100 歳を迎える柚木沙弥郎は、“つくること”が生活の一部であるように、現在も日々制作と向き合っています。「型染」に、独創的な表現を加えた豊潤な色彩による作品は、これまで多くの人々を魅了してきました。80 歳を超えてからは、海外で紹介される機会も増え、新たな境地を獲得し「布」から「作品」へ、より自由な飛躍を遂げたアーティストとしての活躍は年齢を感じさせません。柚木にはもう一つ、教育者としての顔があります。今年で 73 年を迎える、女子美術大学の工芸科の設立に参画、長きにわたって学生の指導に努めました。そのユニークな教え方により、今も多くの卒業生に慕われています。本展では、柚木沙弥郎の「創作」に加え、“女子美工芸”において展開された「教育」にもフォーカスをあて、「注染（ちゅうせん）」や「型紙防染（かたがみぼうせん）」という柚木が得意とした技法や、こだわり続けた素材についてなど、従来取り上げられることの少ないテーマからの構成を試みました。常に学生と共にあった女子美のこの場所において、柚木作品の魅力をご覧ください。

展示内容

注染布、型紙防染布、型紙、エスキース、スクラップブック、女子美工芸の記録写真など

展示構成

序章（プロローグ）

第1幕 柚木沙弥郎・染める+染まる

第2幕 柚木沙弥郎・女子美工芸、学生とともに

第3幕 柚木沙弥郎・グラフィック

第4幕 柚木沙弥郎・自由に、空間へ

第5幕 柚木沙弥郎・再び暮らしへ

第6幕 柚木沙弥郎・創造が生まれるところ

序章（プロローグ）

展示会のイントロダクションとして、柚木が染色を志す動機、そして1950年代の女子美工芸設立当時の柳悦孝と芹沢銈介との関係を紹介します。

第1幕 柚木沙弥郎・染める+染まる

柚木沙弥郎の最も代表的な技法「型染」。その中でも1950年代中頃、柚木が女子美工芸の学生とともに試行を繰り返し考案した広幅布による「注染」に焦点をあて、その代表作をご覧ください。

① 注染の世界

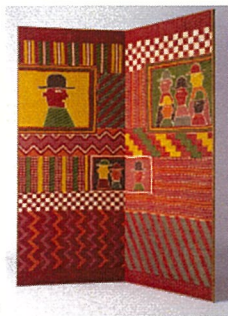
染料を注いで染める日本独自の技法。繊維に染料が染み込み表裏なく染まる布、ダイナミックなシンメトリーの模様や手仕事による「にじみ」の魅力が見どころです。

② 型紙防染と模様 人と人

抽象化されたユニークな「人」をモチーフにした作品。「柚木レッド」とよばれる深い赤の世界が広がります。型紙やスケッチなど紹介します。

③ 大胆と端正

意図的にムラを表現したり、繰り返す模様をずらしたりと、型紙という制約を超え、大胆でありながら端正な細やかさが共存する着物2点を展示します。



第2幕 柚木沙弥郎・女子美工芸、学生とともに

柳悦孝を中心に「生活の美」をモットーにして始まった染織教育は、学生自らが考えることを促し、学生と共にある教育でした。柚木が実践してきた教育の精神には、4つのキーワードがあります。これらの要素を考えながら学生は作品に取り組みました。卒業生が今も大切に所持している制作ノートにある柚木の言葉も紹介します。



① 【色とパターン】

柚木にとって「深く鮮やかな色」と「華やかで力強いリピートパターン」は重要なデザインの要素でした。女子美では堅牢な染料、スレン染料とナフトール染料を使うことも特徴の1つでした。

② 【素材・触覚】

柚木は染め物にとって、模様と色を活かすための「素材選び」は、とても重要であると語っています。手織り、手紡ぎ、葛の繊維で織った布など、素材感を見る眼を養うことの大切さにも触れています。

③ 【技法】

注染と型紙防染の特徴について、映像と作品によって紹介します。布をじゃばらに折りたたみながら染料を注いで染める注染技法と、型紙の作り方による模様の展開について解説します。

④ 【暮らし】

生活の中を彩るユニークで楽しい柚木の世界。花、鳥、虫などのモチーフによる模様の展開は思わず口元がほころぶカラフルな染色です。柚木の魅力を知るコレクター達の住宅を彩る作品の数々を紹介します。

●教材資料展示 テーマ「女子美工芸の工房から」

- ・ 柚木先生の言葉、卒業生の制作ノート、授業風景、工房の写真パネル
- ・ 素材・型紙・道具の紹介
- ・ 1956年から31年間続いた染織工芸展（日本橋三越での展示販売）のDM、展示風景
- 柚木沙弥郎＋女子美工芸科の年表、グラフィックパネル制作6m～7m



● 第3幕 柚木沙弥郎・グラフィック

35歳の時、柳宗悦の『無有好醜』の表紙題字を手掛け、早くから装訂や題字作成の仕事をおこなってきました。書籍の装訂、型染によるポスター（民芸館展など）につかわれた文字のデザイン、また2020年に京都のエースホテルで展開された柚木フォントを紹介します。



● 第4幕 柚木沙弥郎・自由に、空間へ

女子美を退職した柚木は、70歳を過ぎて、さまざまな人やモノ、コトとの出会いの機会を得て、新たな境地を展開します。ズビエック・セカルとの出会い、布による新たな空間表現へと向います。また72歳で初めての型染による絵本に取り組み、人と動物の壮大な命の世界を、スケール感のある表現に仕上げました。〔絵本〕—『魔法のこぼれ』（1994年）初版 型染原画8点



● 第5幕 柚木沙弥郎・再び暮らしへ

現代の生活に浸透し、普及するための商品を、企業と共に開発していきます。また、エースホテル京都の内装やDEAN & DELUCAの店舗のタペストリーなども手掛けています。IDEE／イデーとの仕事（バック、浴衣、手ぬぐい、靴下）、インテリア空間などを紹介します。

● 第6幕 柚木沙弥郎・創造がうまれるところ

リボン、箱、ガラス瓶、メキシコの玩具などのコレクションを紹介し、柚木の作品が生まれるアトリエのイメージを再現します。

● 柚木沙弥郎のアーカイブオブジェクト展示（教育と個人）6mの展示台

「柳宗悦との書簡」、「ヨーロッパの手描き地図」など、柚木のアーカイブ資料を、6mの展示ケースに配置して、一周しながら、さまざまな人との出会い、訪れた国など、柚木に影響を与えた出来事を追ひ、柚木の人生を振り返ります。また注染指示書など、制作についての資料、エスキース、スクラップブックなど、創作の経緯についても紹介します。



図版 a たすき文	1965年	注染	岩立フォークテキスタイルミュージアム蔵
b 注染ロマネスク文布	1959年	注染	日本民藝館蔵
c 人物屏風 二曲一隻	1972年	型染	岩立フォークテキスタイルミュージアム蔵
d 三月	2001年	型染	岩立フォークテキスタイルミュージアム蔵
e 女子美術大学杉並校舎・工芸科染工房での柚木沙弥郎と学生型染の授業、1967（昭和42）年ごろ			女子美術大学蔵
f 型染の教材			
g 書籍の装訂			作家蔵
h 型染布' 07 a	2007年	型染	岩立フォークテキスタイルミュージアム蔵
i エスキース			作家蔵

開催情報

タイトル 柚木沙弥郎の 100 年一創造の軌跡一 展
会 期 2022 年 9 月 17 日 (土) ~ 10 月 17 日 (月)
会 場 女子美アートミュージアム
開館時間 10:00~17:00 (入場は 16:30 まで) 会期中無休
観 覧 料 500 円 高校生以下、未就学児、65 歳以上、身体障害者手帳をお持ちの方・介助者は無料
主 催 女子美術大学、女子美術大学美術館、女子美術大学デザイン・工芸学科工芸専攻
企 画 柚木沙弥郎展実行委員会、企画協力: &4+do
特別協力 日本民藝館、岩立フォークテキスタイルミュージアム
助 成 (公財) 野村財団、(公財) 朝日新聞文化財団
協 賛 株式会社 良品計画
協 力 女子美術大学染織文化資源研究所
後 援 相模原市、相模原市教育委員会、女子美術大学同窓会
交通機関 ①小田急線 相模大野駅 北口 3 番バス乗場より神奈川中央交通「女子美術大学」行き乗車約 20 分
 ※平日・土曜日午前 10 時前は「グリーンホール前」4 番バス乗場より乗車
 「グリーンホール前」は、相模大野駅から徒歩 5 分のところにある市営相模大野立体駐車場 1 階にあるバス乗り場です。建物表示がないのでご注意ください。
 ②JR 横浜線古淵駅 2 番バス乗場より神奈川中央交通「女子美術大学」行き乗車約 15 分
 ※終点「女子美術大学」のバス停をおりて階段をあがり、左手正門手前の小道を左折。車道に出て右折、100m ほど歩くと美術館入口があります。
 ◎車でご来場の方は隣接する市立相模原麻溝公園内の各駐車場をご利用ください。

関連プログラム

○映像上映
 「柚木沙弥郎の 100 年一創造の源泉と女子美工芸の教育」(2022 年制作) 約 20 分
 ○「ギャラリートーク」「染・織ワークショップ」
 詳細やお申し込み方法については決まり次第、当ホームページにてご案内します。
<https://www.joshibi.net/museum/>

広報用画像

本リリース掲載の図版 a~i を本展覧会広報用画像としてご提供いたします。
 ご希望の方は、別紙「広報用画像申込書」の内容をご確認ください。

本展覧会のお問合せ先

展覧会の内容について : 荒 (工芸専攻研究室) 042-778-6645
 広報用画像・美術館について: 守屋、吉永 (事務) 042-778-6801



広報用画像

図版 a



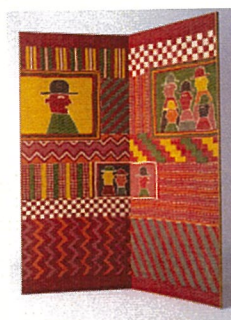
《たすき文》 1965 年
注染
岩立フォークテキスタイル
ミュージアム蔵

図版 b



《注染ロマネスク文布》 1959 年
注染
日本民藝館蔵

図版 c



《人物屏風》二曲一隻 1972 年
型染
岩立フォークテキスタイル
ミュージアム蔵

図版 d



《三月》 2001 年
型染
岩立フォークテキスタイル
ミュージアム蔵

図版 e



《女子美術大学杉並校舎・工芸科
染工房での柚木沙弥郎と学生型染
の授業、1967(昭和42)年ごろ》
女子美術大学蔵

図版 f



《型染の教材》

図版 g



《書籍の装訂》
作家蔵

図版 h



《型染布' 07 a》 2007 年
型染
岩立フォークテキスタイル
ミュージアム蔵

図版 i



《エスキース》
作家蔵

「柚木沙弥郎の100年－創造の軌跡－」展 広報用画像申込書

宛先：女子美アートミュージアム「柚木沙弥郎の100年-創造の軌跡」展 担当者 宛

E-mail：museum@venus.joshibi.jp

■ 必要事項を本票にご記入または同内容の事項とご希望の図版アルファベットを記入のうえ、メールにてお申込みください。

メールタイトルには「柚木沙弥郎の100年－創造の軌跡－」展広報画像申込とご記入ください。

掲載紙・誌を1部ご寄贈くださいますようお願い申し上げます。

①お申し込み日	年 月 日		
②御社名			
③ご担当者氏名			
④住所	〒		
⑤TEL		FAX	
⑥E-mail			
⑦掲示媒体名 (雑誌名など)			
⑧メディアの形態	【紙媒体】 新聞 / 雑誌 / ミニコミ誌 / フリーペーパー / その他 () 【電子媒体】 テレビ / ラジオ / WEB サイト / 携帯サイト / その他 ()		
⑨発行・放送予定日	年 月 日		
⑩ご希望の画像	図版番号 a ~ i のご希望の図版アルファベットをご記入ください *写真画像への文字載せは不可です。 〔 〕 *原則、写真の画像加工（トリミング・色調整など）は不可。但し、モノクロで使用する場合は、コントラスト、 ガンマ値の適宜調整を許可する場合があります。 *キャプション、クレジットは必ず明記してください。		
⑪連絡欄			

■ お申し込み受け付け後、画像データ（JPEG）のダウンロード先を返信でお知らせいたします。

お手元の環境等によりダウンロードできない場合は別途ご連絡ください。

■ 使用にあたっては【広報用画像について】の内容をご了承いただくことが条件となります。

必ずご確認いただきますようお願いいたします。

■ 7/30～9/10までの土日は休日（8/9～8/15は一斉休業）となります。ご連絡が滞る場合がございますのでご注意ください。

【広報用画像について】

- ・画像データはメールにて送付いたします。
- ・画像は展覧会紹介の目的のみにご使用ください。
- ・データを第三者に渡すことは禁止いたします。
- ・使用後、データは破棄してください。
- ・展覧会の名称、期間、会場などの情報は分かりやすく掲載してください。
- ・画像への文字載せは不可です。
- ・画像使用の際は、キャプション、クレジットを明記してください。
- ・掲載誌（紙）は1部、当館担当者までお送りください。
- ・Web サイトは公開後に URL をお知らせください。
- ・当館が掲載内容を確認できるように、掲載前に校正をお送りください。

< 広報用画像に関する問い合わせ先 >

女子美術大学美術館

女子美アートミュージアム

TEL.042-778-6801 / FAX.042-778-6815

展覧会担当 責任者：渡邊、荒（工芸研究室）、
降旗（ゲストキュレーター）

守屋・吉永（事務）